

第3回第2次白馬村スポーツ推進計画策定委員会 会議録（要約）

招集年月日	令和2年2月19日（水） 午前10時00分			
招集の場所	ウイング21 事務所奥会議室			
開閉会の日時	開会	令和2年2月19日（水） 午前10時00分		
	閉会	令和2年2月19日（水） 午前11時00分		
出席者数	委員数 11名の内 出席者 8名			
出席委員	職名	氏名	職名	氏名
	委員長	山岸 忠	委員	前田 千恵
	委員	松澤 忠明		
	委員	横澤 幸一		
	委員	飯島 忠一		
	委員	松澤 宏和		
	委員	松沢 斉		
事務局	生涯学習スポーツ課 課長	関口 久人	生涯学習スポーツ課 係長	柏原 英司
	生涯学習スポーツ課 主査	内川 直人		
傍聴者	なし			

1. 開 会

2. あいさつ

○委員長

お忙しいところ出席いただき感謝申し上げます。本日も慎重に審議いただきたい。

3. 協議事項

(1) 第2回委員会の振り返り

事務局が第1回委員会議事録の要点を説明した。

(2) 第2次白馬村スポーツ推進計画修正(案)について

事務局が資料のとおり青字部分の変更点を中心に説明した。

○委員

予約システムについて、都度窓口へ手続きに行くのは手間。大町市等でも導入されているが、白馬村では進んでいない印象を受ける。

○事務局

要望があることは承知しており、どのようなシステムが良いか情報収集し、検討している。白馬村は村外からの利用者も多いため、事前登録が前提の運用はいかがなものかと考える。

○委員

村民を対象に、とにかくやってみるべきではないか。窓口に行く手間を嫌って、機会を逸してはもったいない。

また、指導者の育成について、競技力向上の面だけでなく、普及・振興の面でも重要と考える。指導者情報のデータベースを作り、ニーズに対してマッチングしていく必要がある。

○委員

前回指摘した総括について追加され、良くなったと感じる。

「鏡のある部屋」という表現が、わかる方にしか伝わらないと感じる。「多目的利用可能な部屋」のような表現ではどうか。

○委員

eスポーツについて、諏訪地域で町おこしの活動に取り入れるという記事を目にした。スポーツの面だけでなく、地域活性化に向け村全体で取り組んでいけば良いのではないかと感じた。今回の計画については、「研究する」という表現で良いと思う。

○事務局

スポーツの概念がものすごく広がっており、追いついていない部分もあり、「研究する」としたい。施設予約に関しては、基本方針⑤の（２）②の文言で良いか。

○委員

「検討します」ではなく、「する」として是非実現してほしい。B & G 体育館についてのみ具体的な記載があるのはなぜか。他の施設についても触れていただきたいし、実現できる・できないではなく、5カ年の目標として掲げてほしい。例えば、雨天対策施設は必要と考える。

○委員長

白馬村は雨が降ると屋外のスポーツができないというレッテルを貼られている部分がある。目標として盛り込むことも必要ではないか。

○委員

地域の皆さまは、頑張ってお客様を呼んでいる。グラウンドの排水等、今ある施設の改修も含めて計画に盛り込んでおくことで、今後につながると考える。

○事務局

B & G 体育館についての記載は削除し、雨天対策施設について加えさせていただく。スノーハープの芝も、5年1度改修が必要。

○委員

スノーハープの芝についても記載すれば良いと思う。

○委員

B & G プールの通年利用は難しいのか。泳げない子どもが多い。

○事務局

平成24年の改修では、構造上の問題や、B & G 財団から寄贈された施設であること等から、現在の形に落ち着いた。

○委員

中学にもプールが無い。水泳に限らず、自分を守る意味でも様々なことをやることが重要。

○委員

現在のB & Gプールを通年営業にするだけでは、人は来ないと思う。エクササイズやスイミングチーム等、幅を広げる必要がある。どんなスポーツでも、トレーニングやリハビリでプールを使うのも確か。

○委員

小谷村の施設は岩盤浴等もあり、上手に使っている印象。

○委員

大町市、小谷村、小川村にはそのような施設があり、白馬村から通っている。

○委員

スポーツ推進委員の立場では、どうすれば普段スポーツをしない人が、してくれるのかを一番知りたい。そこに対する調査・研究を行い、結果を盛り込んでいく必要がある。

7. その他

次回会議は3月19日（木）15時よりウイング21の事務所奥会議室にて開催。

今回の意見を事務局にて集約し、2月26日（水）～3月11日（水）の期間でパブリックコメントを実施する。委員の皆さまからも是非ご意見を伺いたい。

8. 閉 会